



お月見会



お月見の由来の紙芝居を見ました



お月様の移り変わりのお話を
聞きます



「うさぎ」の歌をうたいます♪

＜十五夜とは＞
十五夜は15日かけてまるくなった満月のことをいいます。(満月は1年に12～13回見られます。)
そのうちのもっとも空が澄んできれいに見える9月から10月ごろの満月を鑑賞する「月見」「観月」の風習が生まれ、ちょうどそのころが実りの時期でもあったことから収穫祭としても定着したのが「お月見」の始まりです。
満月にみたてたお団子をお供えして豊穣の感謝をするとともに、まだ収穫時期が来ない稲穂の代わりにススキの穂を飾って感謝や来年の豊穣もお願いしました。
ススキには魔除けの力があるとされ、健康や幸せを願う意味も込められました。